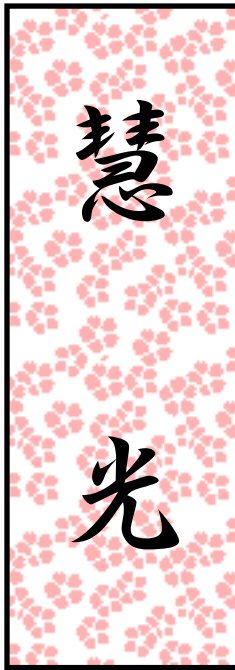




▲ 今年は曼珠沙華（彼岸花）がとても綺麗でした (9月19日)



金光寺寺報
第208号
発行所 金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
5927番地
☎ 0982
83-2338

今月法語カレンダーのことば

煩は身とわずらわす 悩はこころとなやます

今月のことばは、『唯信鈔文意』の中から選ばれたものです。親鸞聖人は、よく文字を使い分け分析して、それぞれの意味を示されることがあります。分釈といひます。今は、煩惱を「煩」と「悩」に離して解釈されています。

聖人の著述をみていきますと、煩惱という文字、そしてそれを冠した、煩惱成就・煩惱具足・煩惱熾盛といった四字熟語が、目に入ってきます。そしてこれらの語は、凡夫・衆生を説明する文脈の中で出てきますので、私がいまどのような生き方をしているかということと関わって、深く味わっていくべき言葉があります。〈煩惱成就の凡夫、生死罪濁の群萌〉〈煩惱具足の凡夫、火宅無常の世界〉〈煩惱熾盛の衆生をたすけんがための〉

私たちは、この三つの文から、この私が煩惱によってできあがり、煩惱を抱え、そして

その煩惱の勢いが強いこと、そんな煩惱と私の関係があらわされているとうかがうことができましょう。

煩惱の流れの中に生き、おのおのの孤独の思いを抱きつつ、迷いの世界に沈んでいる私たち、そういう私たちを哀れみ悲しんでくださったのが、阿弥陀さまの大悲大願でありました。なんとしても仏に育てあげてやりたい、浄土に生まれて救われることがないようなら私も仏になりません、と誓っておられるのです。

自分も他人もみな凡夫です。そういう姿が知らされていく時、互いに、許し合い、いたわり合い、そして、みんな尊いものを持っているのだという思いが広がっていくように思うことです。

(本願寺出版社刊「大乘」誌掲載 『月々のことば』より抜粋 転載)

仏事お休みのお知らせ

下記の日には緊急を除き、仏事は行いません。ご協力をお願いします。

◎10月

23日(火) 午後
24日(水) 終日

◎12月

9日(日) 終日
15日(土) 終日
16日(日) 終日

8月、9月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。

2018年 8月 7日 満55歳
東光寺 小迫和 様
2018年 9月 7日 満82歳
東光寺 藤嶋 博 様

ホームページ開いています。

URL <http://konkouji.jp/>

10月6日現在アクセス数 83,889人

仏教名言ノート

自らを灯明とし、法を灯明とせよ

お釈迦さまは最後の旅の途中、ヴェーサリーの郊外で病氣になられました。おそばに仕えていたアーナンダは、「このまま亡くなってしまわれたら、どうしよう」と心配しました。アーナンダは漢字で「阿難」といい、二十五年の間、「あなたも影のように」お釈迦さまに仕えてきた侍者です。アーナンダは何事につけても、お釈迦さまをたよりにして生きてきました。

「何をたよりにすればいいのか」そんなアーナンダの気持ちを見通されたお釈迦さまは、「どう論じましたか。」「自らを灯明とし、自らをたよりにして、他人をたよりにせず、法(真理)を灯明とし、法を抛(ゆ)りどころとして、他のものを抛りどころとせずあれ」と。

これが有名な「自灯明、法灯明」の說法です。「灯明」は「たよりになるもの」という意味です。暗闇(くらやみ)の中で、その闇を打ち破るのは灯明だからです。原語の関係で、これは本来「灯明」ではなく、「島」である、ともいいま

す。大きな河や海で流されたとき、たよりにする「島」であり、中州であるといふのです。いずれにしても、これは「最後の抛りどころ」という意味ですね。お釈迦さまは、仏教が問題としていた「あなた自身」であること、そして、お釈迦さまが今まで説いてこられた「真理の法」が、その抛りどころであることを明らかにされ、やがて入滅されました。二月十五日はお釈迦さまのお亡くなりになった日です。

(本願寺出版社発行 辻本敬順著 「仏教名言ノート」から)

任職ひとりごと

て状話円のるアートたり当もた見たた表しうす金普たり週方決数字る致にて
い態し当かとが週ア。数つ思らる夢。のたこ。が通っ方分はま字とす選い口
まの、たも、一だ買そ字てっ正こだ。その前。とそ当のたでを数っのいうとですア
す。金→っしも等けいののいて夢とっ。の日そをのた宝こすま字て数うとですア
。光取たれうに買続後確たいだもた。の夢はく時れくこじはもめ変えま
(寺ららま当いけも認らまっなの。のす。の当こ、がりいろ買
職。ぬどせた選忘て性を悔すたいで。じ、るじとよなちてえま
夢狸うんるしれい懲しし。ののす。の当こ、がりいろ買
松をのすがこてたまりまいとで。等。夢たと一結はのんうこ。か。選の数く
井追皮る、とい時す。もせのいはも普。をりをが週構高で一とと私一金数字
卓い算?「はたの。なんでうとし段当。見数あだあいす等いな。の等致が字を
郎続用「二なと口もくで当の今か夢た。ま字りけり当ががうく買。とし賞が自
」け「と億いすト、口したもでしをっし。発ま買ま選、当や四い。かたえ一由